

3年生の皆さん、祝ご卒業。

「君が今までしてきた選択と、私が今までしてきた選択が、私たちを会わせたの。私達は、自分の意思で出会ったんだよ。」とは、以前紹介した『君の臍臓を食べたい』の桜良の言葉だ。三年前、それまでしてきた選択によって、ここで出会った卒業生の皆さんは、それぞれの新たな選択のもと新たな道を進む。

そんな卒業生の皆さんへ、RADWIMPSの『正解』の一節を紹介する。

「並んで歩けど どこかで追いついていた

君の背中は 明日からは もうそこにはない

ああ答えがある問いばかりを 教わってきたよ

だけど明日からは 僕だけの正解をいざ 探しにゆくんだ また逢う日まで

次の空欄に当てはまる言葉を書き入れなさい

ここでの最後の問い

君のいない 明日からの日々を 僕は 私は きっと ()

制限時間は あなたのこれからの人生 解答用紙は あなたのこれからの人生

答え合わせの時に私はもういない

だから採点基準は あなたのこれからの人生 よーいはじめ」(RADWIMPS『正解』より)

明日の卒業式は、体育館には3年生と保護者の方、そして最小限の来賓と在校生の代表、教職員が参列する形になっている。3年生には、寂しい思いをさせて申し訳ない。1・2年生には教室のスクリーンに式典の模様をライブ映像と音声で届ける。明日は立派な卒業式にしよう。我々も全力で取り組む。

それぞれの道

「自分には自分に与えられた道がある。天与の尊い道がある。どんな道かは知らないが、他の人には歩めない。自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。広いときもある。狭いときもある。のぼりもあれば、くだりもある。坦々としたときもあれば、かきわけかきわけ汗するときもある。この道が果たしてよいのか悪いのか、思案にあまるときもあろう。なぐさめを求めたくなるときもあろう。しかし、所詮はこの道しかないのではないか。あきらめろと言うのではない。いま立っているこの道、いま歩んでいるこの道、とにかくこの道を休まず歩むことである。自分だけしか歩めない大事な道ではないか。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。他人の道に心を奪われ、思案にくれて立ちすくんでいても、道は少しもひらけない。道をひらくためには、まず歩まねばならぬ。心を定め、懸命に歩まねばならぬ。それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。」(『松下幸之助経営の神様とよばれた男』より PHP 文庫/北 康利) 松下幸之助は、現パナソニックの創業者だ。ドラえもんもこう言っている。「道を選ぶということは、必ずしも歩きやすい安全な道を選ぶってことじゃないんだぞ。」パイレーツオブカリビアンズのジャック・スパロウは言う「未来が決まっているなんて話、信じられないね。」それぞれの道は明日、ここから始まる。

卒業おめでとう。

群青 vol22 の問題の正解

タイトルから最後の行まで数えたか？正解は、2月の2と22日の22をかけた2×22の44個。

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩